

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)

【公開番号】特開 2018-192314 (P2018-192314A)

【公開日】平成 30 年 12 月 6 日 (2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報 2018-047

【出願番号】特願 2018-169178 (P2018-169178)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 8 日 (2019.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の主な制御を行う主制御手段と、その主制御手段から送信されるコマンドに基づいて動作する副制御手段と、その副制御手段による制御に基づいて画像を表示する画像表示手段とを備えた遊技機であって、

前記副制御手段は、

前記画像表示手段に表示させる 1 画面分の画像を描画する画像描画手段と、

その画像描画手段による画像の描画に用いられる複数の画像情報を記憶する第 1 画像記憶手段と、

前記主制御手段より受信した所定コマンドに対して、前記画像表示手段に識別情報を動的表示させる所定表示態様を複数の表示態様の中から特定する第 1 表示特定手段と、

各表示態様の描画に必要な情報を示す描画情報を 1 画面毎に規定した第 1 規定情報を記憶する第 1 規定情報記憶手段と、

前記第 1 表示特定手段により特定された所定表示態様に対応する前記第 1 規定情報を特定する第 1 特定手段と、

所定の時間経過毎に更新される更新手段と、

その更新手段が更新される毎に、その更新された前記更新手段に対応する 1 画面分の描画情報に基づいて、前記画像描画手段に対して 1 画面分の画像の描画を指示する描画指示情報を生成する描画指示情報生成手段と、

時間を計時可能な計測手段と、を備え、

前記画像描画手段は、前記描画指示情報生成手段により生成された前記描画指示情報に基づき、画像情報を用いて 1 画面分の画像を描画するものであり、

前記画像表示手段に識別情報を動的表示させる表示態様は、その表示態様ごとに、前記動的表示を開始してから終了させるまでの所要時間が予め定められており、

前記副制御手段は、

前記第 1 表示特定手段により特定された所定表示態様で表示を開始してから前記所要時間が経過した後に引き続き表示する、識別情報の動的継続表示に使用する第 1 規定情報を特定する第 2 特定手段を備え、

前記主制御手段から送信されるコマンドが前記所定コマンドである場合に、その所定コマンドを受信した副制御手段は、前記所定コマンドに対応した時間の識別情報の動的表示

を特定の表示態様で実行するものであり、

前記所定コマンドに対応した時間は複数存在し、

前記所定コマンドに対応した所定時間に対して実行可能な表示態様が複数存在し、

前記第1表示特定手段により特定された所定表示態様がいずれの表示態様であっても、

前記所要時間が経過した後に引き続き表示される前記識別情報の動的継続表示の表示態様は同一の表示態様であり、

前記副制御手段は、

遊技者により操作可能な操作手段が操作されたことを契機として前記画像表示手段に所定の表示を行う所定表示実行手段と、

前記主制御手段より特定コマンドを受信した場合に、前記画像表示手段にて前記識別情報を確定表示させる確定表示制御手段と、

前記第1表示特定手段により特定された所定表示態様で表示を開始してから前記所要時間が経過しても前記特定コマンドが受信されない場合に、前記識別情報の動的継続表示を開始する動的継続表示制御手段と、を備え、

少なくとも前記画像表示手段に前記識別情報の動的継続表示が行われる期間中、前記所定表示実行手段による前記所定の表示を非実行とし、

前記確定制御手段は、前記識別情報の動的継続表示期間中に前記主制御手段より特定コマンドを受信した場合に、前記識別情報の動的継続表示を終了して前記識別情報の確定表示を行うことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記遊技機は、パチンコ遊技機であることを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、遊技機に関するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来より、遊技機では、遊技機の制御を主制御手段と副制御手段とによって行うように構成されている。例えば、遊技の主な制御が主制御手段によって行われる一方、遊技機に設けられた液晶表示装置などの画像表示手段における演出画像の表示制御などが副制御手段によって行われる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

しかしながら、従来の遊技機では、演出画像の多種多様化に伴って処理が複雑かつ膨大化するおそれがあるという問題点があった。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

本発明は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、画像表示手段に表示される演出画像等の表示態様の多種多様化を容易に図ることが可能な遊技機を提供することを目的としている。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

この目的を達成するために請求項 1 に記載の遊技機は、遊技の主な制御を行う主制御手段と、その主制御手段から送信されるコマンドに基づいて動作する副制御手段と、その副制御手段による制御に基づいて画像を表示する画像表示手段とを備えたものであって、前記副制御手段は、前記画像表示手段に表示させる 1 画面分の画像を描画する画像描画手段と、その画像描画手段による画像の描画に用いられる複数の画像情報を記憶する第 1 画像記憶手段と、前記主制御手段より受信した所定コマンドに対して、前記画像表示手段に識別情報を動的表示させる所定表示態様を複数の表示態様の中から特定する第 1 表示特定手段と、各表示態様の描画に必要な情報を示す描画情報を 1 画面毎に規定した第 1 規定情報を記憶する第 1 規定情報記憶手段と、前記第 1 表示特定手段により特定された所定表示態様に対応する前記第 1 規定情報を特定する第 1 特定手段と、所定の時間経過毎に更新される更新手段と、その更新手段が更新される毎に、その更新された前記更新手段に対応する 1 画面分の描画情報に基づいて、前記画像描画手段に対して 1 画面分の画像の描画を指示する描画指示情報を生成する描画指示情報生成手段と、時間を計時可能な計測手段と、を備え、前記画像描画手段は、前記描画指示情報生成手段により生成された前記描画指示情報に基づき、画像情報を用いて 1 画面分の画像を描画するものであり、前記画像表示手段に識別情報を動的表示させる表示態様は、その表示態様ごとに、前記動的表示を開始してから終了させるまでの所要時間が予め定められており、前記副制御手段は、前記第 1 表示特定手段により特定された所定表示態様で表示を開始してから前記所要時間が経過した後引き続き表示する、識別情報の動的継続表示に使用する第 1 規定情報を特定する第 2 特定手段を備え、前記主制御手段から送信されるコマンドが前記所定コマンドである場合に、その所定コマンドを受信した副制御手段は、前記所定コマンドに対応した時間の識別情報の動的表示を特定の表示態様で実行するものであり、前記所定コマンドに対応した時間は複数存在し、前記所定コマンドに対応した所定時間に対して実行可能な表示態様が複数存在し、前記第 1 表示特定手段により特定された所定表示態様がいずれの表示態様であっても、前記所要時間が経過した後に引き続き表示される前記識別情報の動的継続表示の表示態様は同一の表示態様であり、前記副制御手段は、遊技者により操作可能な操作手段が操作されたことを契機として前記画像表示手段に所定の表示を行う所定表示実行手段と、前記主制御手段より特定コマンドを受信した場合に、前記画像表示手段にて前記識別情報を確定表示させる確定表示制御手段と、前記第 1 表示特定手段により特定された所定表示

態様で表示を開始してから前記所要時間が経過しても前記特定コマンドが受信されない場合に、前記識別情報の動的継続表示を開始する動的継続表示制御手段と、を備え、少なくとも前記画像表示手段に前記識別情報の動的継続表示が行われる期間中、前記所定表示実行手段による前記所定の表示を非実行とし、前記確定制御手段は、前記識別情報の動的継続表示期間中に前記主制御手段より特定コマンドを受信した場合に、前記識別情報の動的継続表示を終了して前記識別情報の確定表示を行う。

請求項 2 記載の遊技機は、請求項 1 記載の遊技機において、前記遊技機は、パチンコ遊技機である。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の遊技機によれば、遊技の主な制御を行う主制御手段と、その主制御手段から送信されるコマンドに基づいて動作する副制御手段と、その副制御手段による制御に基づいて画像を表示する画像表示手段とを備えたものであって、前記副制御手段は、前記画像表示手段に表示させる 1 画面分の画像を描画する画像描画手段と、その画像描画手段による画像の描画に用いられる複数の画像情報を記憶する第 1 画像記憶手段と、前記主制御手段より受信した所定コマンドに対して、前記画像表示手段に識別情報を動的表示させる所定表示態様を複数の表示態様の中から特定する第 1 表示特定手段と、各表示態様の描画に必要な情報を示す描画情報を 1 画面毎に規定した第 1 規定情報を記憶する第 1 規定情報記憶手段と、前記第 1 表示特定手段により特定された所定表示態様に対応する前記第 1 規定情報を特定する第 1 特定手段と、所定の時間経過毎に更新される更新手段と、その更新手段が更新される毎に、その更新された前記更新手段に対応する 1 画面分の描画情報に基づいて、前記画像描画手段に対して 1 画面分の画像の描画を指示する描画指示情報を生成する描画指示情報生成手段と、時間を計時可能な計測手段と、を備え、前記画像描画手段は、前記描画指示情報生成手段により生成された前記描画指示情報に基づき、画像情報を用いて 1 画面分の画像を描画するものであり、前記画像表示手段に識別情報を動的表示させる表示態様は、その表示態様ごとに、前記動的表示を開始してから終了させるまでの所要時間が予め定められており、前記副制御手段は、前記第 1 表示特定手段により特定された所定表示態様で表示を開始してから前記所要時間が経過した後引き続き表示する、識別情報の動的継続表示に使用する第 1 規定情報を特定する第 2 特定手段を備え、前記主制御手段から送信されるコマンドが前記所定コマンドである場合に、その所定コマンドを受信した副制御手段は、前記所定コマンドに対応した時間の識別情報の動的表示を特定の表示態様で実行するものであり、前記所定コマンドに対応した時間は複数存在し、前記所定コマンドに対応した所定時間に対して実行可能な表示態様が複数存在し、前記第 1 表示特定手段により特定された所定表示態様がいずれの表示態様であっても、前記所要時間が経過した後引き続き表示される前記識別情報の動的継続表示の表示態様は同一の表示態様であり、前記副制御手段は、遊技者により操作可能な操作手段が操作されたことを契機として前記画像表示手段に所定の表示を行う所定表示実行手段と、前記主制御手段より特定コマンドを受信した場合に、前記画像表示手段にて前記識別情報を確定表示させる確定表示制御手段と、前記第 1 表示特定手段により特定された所定表示態様で表示を開始してから前記所要時間が経過しても前記特定コマンドが受信されない場合に、前記識別情報の動的継続表示を開始する動的継続表示制御手段と、を備え、少なくとも前記画像表示手段に前記識別情報の動的継続表示が行われる期間中、前記所定表示実行手段による前記所定の表示を非実行とし、前記確定制御手段は、前記識別情報の動的継続表示期間中に前記主制御手段より特定コマンドを受信した場合に、前記識別情報の動的継続表示を終了して前記識別情報の確定表示を行うので、画像表示手段に表示される表示態様の多種多様化を容易に図ることができるという効果がある。